

## 丹波でのミドリシジミ採集記録 山口 福男

本誌第25巻第2号(1997)に広畑・近藤氏によりミドリシジミの兵庫県の分布について詳細に報告された。このなかで冒頭に丹波から但馬東部にかけて分布の空白域があるが、生息地が無いのではなく記録の欠落と推察されている。事実はこの推論のとおりで、私の昭和30年代の経験では多紀郡ではどこにでもいる普通種であった。これがヒサマツやヒロオビ等の珍品であれば鬼の首でもとったように早速報告するであろうが、普通種となれば発表の機会が大変に少ない。かなり古いが、私のもっている標本のラベルと採集メモから丹波のミドリシジミの採集報告をさせていただく。

採集地 多紀郡西紀町宮田

採集時期 1960年6月23日 1♀

採集地 多紀郡城東町辻

採集時期 1964年6月下旬 9♂7♀

城東町の7匹の♀の内訳はAB型1, A型1, B型2, O型3であった。当時の生息数はかなりの数で、上記の標本は2メートルぐらいの高さのハンノキ1本から得たものであった。

(YAMAGUCHI FUKUO)

神戸市須磨区神戸谷3丁目6-4)

## ミスジチョウを神戸市で採集 岡村 八郎

ミスジチョウ *Neptis philyva* を神戸市内で採集したので報告する。

<データ>1998.6.7. 神戸市中央区布引 午後2時。

駅北側に吸水のため現れた所を網をかぶせて採集する。蝶の巾は6.8cmと大きい。また、ルリタテハが2頭(♂♀)現れる。

<参考文献>

- 1) 岡村八郎 神戸市コノマチョウ属 2種の記録 蝶研フィールドNo.4-73号
- 2) 広畑政巳・近藤伸一 兵庫県産蝶類分布資料 (12)タテハチョウ科 3種の記録(ホシミスジ、ミスジチョウ、スミナガシ) きべりはむし26巻1号

(OKAMURA HACHIRO)

神戸市東灘区御影中町1丁目10-6)

## ムラサキツヤハナムグリの採集記録 岡村 八郎

私は1992年1月5日に神戸の再度山へタクシーで上り、大竜寺下車、二本松の崖の高いところをビッケルでゴソゴソとほじるとマヤサンオサムシがポロポロと落ちてきた。

その中に白くて長さ2センチぐらいのがあり、それを割ると紫色の甲虫が出てきた。それは丸い形で尻がすぼまり腹節に深く縦溝がある。ムラサキツヤハナムグリ *Protaetia cataphrata* (Arrow,1913)である。<データ>神戸市再度山 1992年1月5日 岡村八郎採集

<参考文献>

- 1) 高橋寿郎(1984) 兵庫県のハナムグリ てんとむし9:1-17.
- 2) 高橋寿郎(1999) きべりはむし27(3) 日本に産するコガネムシ類の分類目録第一版補訂版
- 3) 今笠原 隆(1991) 日本産シロテンハナムグリについて1 月刊むし
- 4) 今笠原 隆(1991) 日本産シロテンハナムグリについて2 月刊むし
- 5) 酒井 香・永井信二(1998) 世界のハナムグリ 大図鑑 むし社

(OKAMURA HACHIRO)

神戸市東灘区御影中町1丁目10-6)

## フジミドリシジミの灯火への飛来例 内藤 隆夫

福田ほか(1984)によれば、フジミドリシジミ *Sibatanozephyrus fujisanus* は「夜間、灯火に飛来することが多い」とされている。

筆者も同様の生態を観察しているので、一例として記録しておく。

養父郡大屋町氷ノ山, 29.VI.1998, 1♂

ブナ林付近の林道で、ブラックライトおよび白色蛍光灯を用いて灯火採集を行っていたところ、午後11時頃に白幕に飛来したものである。

<参考文献>

- 福田晴夫ほか(1984) 原色日本蝶類生態図鑑(III) 保育社

(NAITO TAKAO 寝屋川市池田3-4-13)